

ときめき

No.449
2022 2-4

タマネギの冬春まき栽培方法の研究について

中山間地域など、積雪地域においてもタマネギ栽培が可能となる冬春まき栽培の研究を行っています。

タマネギは県の水田園芸推進6品目の一つで、機械化一貫体系による省力化が可能で、今後、生産拡大が見込まれる品目です。

本県をはじめ、本州以南のタマネギ産地は主に秋に播種して5～6月に収穫する秋まき栽培が行われていますが、中山間地などの積雪地域では越冬後の株消失などにより作柄が不安定となるため、栽培が難しいのが現状です。

一方、冬春まき栽培は主に北海道で行われていますが、近年は研究が進み、本州でも生産が広がりつつあります。中山間地域を多く抱える本県でも、冬春まき栽培が可能となれば、タマネギの生産拡大に向けて強力な後押しとなると考えられます。

当センターでは、中山間地域での冬春まき栽培の研究として、現地ほ場を活用する「現場タイアップ研究」で品種選定や肥料比較に取り組んでいます。また、冬春まき栽培は、①秋まき栽培に比べて定植から収穫までの期間が短いため、十分な球肥大をさせるための生育期間の確保、②雑草対策、③高温・多湿の梅雨期に収穫期を迎えるため、病害虫防除の徹底が栽培のポイントであることを明らかにしました。特に腐敗病の多発は甚大な被害となるため、防除体系の早期確立が必要不可欠です。

当センターでは、加工業務適性の高い品種選定、栽培方法、病害虫・雑草防除等、課題の早期解決と安定生産技術の確立に向け、引き続き取り組むとともに、関係機関と情報共有を図っていきます。



写真1 現場タイアップ研究ほ場の様子



写真2 球肥大の様子

作目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
冬春まき タマネギ	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
(従来作型) 秋まきタマネギ										○	●	●

□:ハウス ○:トンネル ●:播種 ●:定植 —:生育期間 □:収穫期間

図 タマネギ栽培の作型図

問い合わせ先：栽培研究部水田園芸科（担当:持田耕平）

TEL 0853-22-6992

E_mail:nougi@pref.shimane.lg.jp